

生活

丈夫がいいね

1439

鎖RNAを探し出し、ウイルスに感染した細胞を自殺させる働きがある。

これまでの抗ウイルス薬は、一つの薬で1種類

のウイルスしか殺せず、それもウイルスが変異してしまえば効かなくなる状態だった。これに対し、DRACOはRNAを遺伝子として持つすべての

ウイルスに効果を発揮する可能性がある。ウイルスが変異しても効果は続き、しかも正常な細胞には反応しないため、副作用もないとみられている。

「特效薬」10年後にも実用化

風邪(下) 治療薬の進歩

的な原因ウイルスである「ライノウイルス」やインフルエンザウイルスなどの増殖を抑える効果があることが確認されたのである。

感染細胞が「自殺」



風邪の症状に合わせ、さまざまな種類がそろった市販薬や処方薬。つい頼ってしまうこれらの薬はあくまで熱やせき、鼻水などの症状を緩和する「対症療法」で、風邪のウイルスを退治できるのは体に備わっている自然治癒力だけというのが現状である。だが、風邪に特效薬はないという常識も近い将来、変わるかもしれない。

第38部 変わる常識

「DRACO」と名付けられたこの新薬は、ウイルスが細胞に感染し、その遺伝子が増える時にできる「二重



「現在の風邪薬はあくまでも対症療法だが、近い将来、本当の特效薬ができるかもしれない」と語る市村宏金大教授

ウイルスの増殖防ぐ

他の病気にも効果のである。

風邪の原因となるウイルスは200種類以上もある。これらに個別に効く抗ウイルス薬を開発しようとすれば膨大な研究期間と費用がかかることを考えると、DRACOはまさに「夢の薬」だ。

風邪のウイルスの他に、ポリオの原因となるポリオウイルスや出血熱を引き起こすウイルスな

どに対しても効果があることが分かっており、金大大学院医学系研究科の市村宏教授(ウイルス感染症制御学)も「風邪をはじめとしたさまざまな病気に対して、非常に有望な薬剤です」と、実用化に期待を込める。

DRACOはマウスを用いた実験ではすでに効果と安全性が確認されており、今後、より大型の動物でのテスト、そして人体での臨床試験に進む予定だという。早ければ10年後には、薬局で風邪の特效薬が買えるようになるかもしれない。

◇「丈夫がいいね」は毎週水、金曜日掲載します。

「丈夫がいいね」第1部35部発売中。お問い合わせは北國新聞社出版局 076(260)3587